

令和4年度 鹿児島県中体連総合体育大会 ハンドボール競技 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

1 大会開催の条件

以下の条件が整わない場合は、大会の開催を中止する。

- (1) 鹿児島県の方針に従う。
 - ・鹿児島県が県内の移動を認めている。
 - ・大会の参加する選手全員が試合に向けたコンディションが整っている。
(活動自粛・停止等がなく、練習ができています)
- (2) 大会に関わる関係者、参加するチームの選手・スタッフ、来場者の全員が日常において「新しい生活様式」に従って感染症対策を実施している。
- (3) 大会において鹿児島県中学校体育連盟（ハンドボール専門部）が十分な感染対策を実行できる。

2 大会参加者に関すること

- (1) 大会に参加するにあたって、参加者を以下のようにグループ分けする。
 - ・グループ1（必須）：選手，チーム役員，大会役員，審判，競技役員，補助員
 - ・グループ2（望ましい）：メディア
 - ・グループ3（非必須）：保護者，観客，セールス，販売員など
- (2) 鹿児島県が出すイベント制限や、会場の状況に応じて、入場制限を行う。
入場制限がなくても、リスクを理解した上で参加する。
- (3) 大会参加者は以下の項目を遵守する。
 - ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - (大会当日に別紙1「体調記録表」別紙2「学校同行者体調記録表」にて確認)
 - ・体調がよくない場合（例：発熱，咳，咽頭痛などの症状がある場合）
大会5日前（7/21～）以降に発熱があった生徒については、参加を見合わせる。
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限，入国後の観察期間を必要とされている国，地域等への渡航，または当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ② 大会参加者の全員のマスク着用・咳エチケット
 - ③ 主催者が示す注意事項の遵守
 - ④ 大会終了後に新型コロナウイルスに感染症を発症した場合の速やかな報告
 - ⑤ 大会実施前後2週間は可能な限り別紙4「行動履歴書」を記載
 - ⑥ 大会本部（ハンドボール専門部）は、学校同行者(生徒・引率者用)体調記録表（別紙2）・応援者大会当日体調記録表(別紙6)に記載された者以外（大会役員・審判等の来場者）に対し、来場者体調記録表（別紙3）に、氏名・年齢・住所・電話番号・体温・来場前2週間における体調の記録等を記入したものを提出させる。また、来場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に対して速やかに報告することを確認する。

3 参加チームにおける感染対策

チーム内において感染対策責任者を決め、感染対策責任者は、必要な感染対策を講じること。

(1) 事前準備

- ① 試合に参加する上での注意事項を選手・保護者・スタッフ全員が理解する。

(不安がある場合は参加を見送る)

- ② チームの感染対策責任者は、チームに関係する参加者(グループ3を含む)の人数を把握し、**参加選手は別紙5「同意書」を記入し、各学校で保管する。**チーム専用のアルコール等の手指消毒液、予備マスク、ぞうきん、ゴミ袋等を準備し、持参し使用する。
- ③ 別紙1「体調記録表」及び別紙4「行動履歴書」を活用し、大会開催日までの健康チェックを行う。(大会2週間前からの検温と行動記録の確認)
- ④ 保護者が会場、日時、対戦相手等を理解しており、参加を了承する(了承しない場合は無理に参加させない)。
- ⑤ 保護者やチームに関係する応援者は、会場に入館する際、**別紙6「応援者大会当日体調記録表」を提出し**、以下の点を守ってもらうように事前に連絡する。
 - ・ 具合の悪い人は来場を見合わせてもらう
 - ・ 全員マスクを着用してもらう
 - ・ 会場内外でソーシャルディスタンスを保つ
 - ・ 声を出しての応援はしない(拍手のみ)

(2) 往復の移動

- ① マスクを着用する
- ② 往復の交通公共機関利用時にはラッシュや混んでいる車両を避ける。常に他者と距離をとり、会話も控える。貸切バスを利用する場合も座席数に余裕をもたせるなど十分配慮する。自家用車の送迎の場合も可能な限り換気をする。
- ③ 会場に到着後、手洗い、消毒等を行う。
- ④ 寄り道をせず、できるだけ早く帰宅する。

(3) 試合前

- ① 選手、チーム役員、補助員、保護者はマスクを着用する。
玄関(入口)で立ち止まらず、速やかに2階席(1階フロア)へ移動すること。
応援席では2m間隔(最低2席とばし)をあけて着席すること。
- ② 引率者(顧問)は参加者の体調を確認し、別紙2「学校同行者体調記録表」を受付へ提出する。
- ③ 着替えを済ませ、更衣室から早く出る。更衣室は着替えたあとは窓とドアを開けっ放しにする。
- ④ 握手やハイタッチ、円陣(近い距離、大声を出す)は行わない。
- ⑤ ミーティングの回数・時間も減らす努力をする、もしくは行わない。

(4) 試合中

[試合関係者のコミュニケーション、給水等について]

- ① チーム役員、ベンチに座る選手は原則マスクを着用する。
- ② プレー以外の不要な接触を避ける(得点後の喜び、交代時の握手等)。
- ③ ベンチの座席も可能な限り距離も保つ(1席とばし等)。応援席も間隔(2席)をあけて座る。
- ④ 飲料ボトルやタオル、おしぼり等を他の選手と共用しない。

[ハーフタイム、交代。退場時、試合終了時の対応]

- ① すぐに消毒や手洗いをする。

- ② ケガをした選手と他の選手がむやみに接触しない。できる限りおんぶや抱っこを避け、担架を活用する。介助に入る競技役員等もビニール手袋を着用する。
- ③ 試合後のチームによる審判への挨拶，オフィシャル，観客席等への挨拶は行わない。
相手チームへの挨拶はキャプテンのみとする。
- ④ ハーフタイムでのベンチの移動は行わない。

(5) 試合後

- ① 試合後，チームの関係者（選手・保護者等）でベンチ，応援席の消毒を行う。
- ② 会場（1階フロア）内でのミーティングは行わない。
- ③ 密にならないように交代で着替えを済ませ，早めに更衣室を出る。
大会終了後は速やかに会場から出る。集合写真撮影等は行わない。
- ④ 試合会場のルールに従い，ゴミを密封した状態で持ち帰る。

(6) 帰宅後

- ① 手洗い，うがい，入浴等をする。早めに就寝し，十分な睡眠時間を確保する。
- ② 試合後2週間も別紙1「体調記録表」及び別紙4「行動履歴書」を記入し，体調に注意しておく。

(7) 事後対応

帰宅後，14日以内にチームの中から感染者が出た場合は，大会事務局（ハンドボール競技専門部長）に速やかにその旨伝える。

4 会場における感染対策

(1) 準備

- ① 玄関や受付，各部屋，オフィシャル席周辺にアルコール消毒液を設置する。
ゲームに支障のない限り，各部屋のドアを開け，ドアノブや扉を介した接触感染を防ぐ。
1試合終了後は必ずオフィシャル道具や得点板も消毒する。
- ② 喫煙所は会場のルールに従って使用する。
- ③ トイレや手洗い場にはポンプ式の液体石けん，消毒液，ペーパータオル，ゴミ袋等を準備し，使用させる。
- ④ 更衣室の換気をする。（ドアを開ける，換気扇を動かす等）
- ⑤ すべての部屋，トイレ，更衣室等のドアノブの消毒をする。
- ⑥ ベンチ及びオフィシャル席，大会役員・競技役員控え席等はゆとりを持って設置する。
- ⑦ 審判員の方々にも別紙1「体調記録表」及び別紙4「行動履歴書」を記入してもらい健康状態の確認を行う。
- ⑧ 生徒については，**全員の入館**を認める。各チーム**保護者・応援者は15名まで**の入館とする。
- ⑨ 受付など人が対面する場合は，アクリル板や透明カーテンで遮断したり，フェイスガード等を使用したりする。

(2) 試合に関して

- ① 審判員の方々にも試合前のセレモニーを極力控えてもらう。3密を回避する努力をしてもらう。
両チームや審判との握手は実施しない。礼のみにする。
- ② オフィシャル道具や得点板，モップ等は人が触れるところを中心に1試合ごとに消毒する。
- ③ 試合間を利用して一定時間ごとの一斉換気を行う。
- ③ チームは，試合終了後，使用したベンチを消毒液でふくなどする。

④ 担架を使用した場合は、消毒を行う。

(3) 試合後・事後対応

- ① チームが会場を去った後、使用したゴールや道具、応援席や部屋、トイレなどを消毒する。
- ② ゴミはすべて持ち帰る。
- ③ 試合後14日以内に役員・審判・参加チーム・補助員などから感染者が出た報告があったら大会事務局（ハンドボール競技専門部長）に報告する。